

2015 環境データ集



CMK
日本シイムケイ株式会社

CONTENTS

環境データ集とは	01
環境データ集に関するお問い合わせ先	01
報告対象範囲	01
報告対象期間	01
環境省 「環境報告ガイドライン(2012年版)」との対照表	02
2014年度の目標と主な活動結果	03

環境に配慮した 生産プロセス・オフィス活動

地球温暖化の防止、 地球温暖化防止 各種法対応について	04
廃棄物の削減・再資源化、省資源活動	05
P R T R法への対応	06
事業所での活動事例	07
オフィス・物流での活動事例	08

管理活動

環境法令の遵守、環境監査の実施 環境スローガン、生物多様性保全活動	09
--------------------------------------	----

情報開示

情報開示、お客様への対応	10
生産及び研究開発拠点の環境負荷データ	11

環境データ集とは

2015CSR報告書に紙面の都合で掲載できなかった環境情報(事例・数値情報)を集め、環境データ集としています。

環境データ集に関するお問い合わせ先

日本シイエムケイ株式会社 環境推進室
〒372-0824 群馬県伊勢崎市柴町236
TEL : 0270-32-9855 FAX : 0270-32-2613
E-mail : kankyout@cmk.co.jp

報告対象範囲

日本シイエムケイ(株)
および その関係会社

国内CMKグループ

日本シイエムケイ株式会社

【生産拠点】

- Gステーション工場
- KIBANセンター工場
- 新潟工場
- 蒲原工場
- 秩父工場

【非生産拠点】

- 本社
- SEセンター
- 技術センター工場
- 営業所(9ヶ所)

国内関係会社

- シイエムケイ・プロダクツ(株)

海外CMKグループ

【生産拠点】

- 希門凱電子(無錫)有限公司
- CMK CORPORATION(THAILAND) CO.,LTD.
- 旗利得電子(東莞)有限公司

【非生産拠点】

- 新昇電子(香港)有限公司
- CMK AMERICA CORPORATION
- 新昇電子貿易(深圳)有限公司
- CMK ASIA(PTE.)LTD.
- CMK EUROPE N.V.

報告対象期間

2014年度

2014年4月 1日

～

2015年3月31日

継続性の強い活動につきましては、一部2015年度の活動も掲載しています。

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」との対照表

環境報告の記載事項

2015CSR報告書
対応ページ

2015環境データ集
対応ページ

1. 環境報告の基本的事項

1	報告に当たっての基本的要件		
(1)	対象組織の範囲・対象期間	1	1
(2)	対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	1	—
(3)	報告方針	1,8	—
(4)	公表媒体の方針等	1,裏表紙	1
2	経営責任者の緒言	2	—
3	環境報告の概要		
(1)	環境配慮経営等の概要	5,6,16	—
(2)	KPIの時系列一覧	17	4,5,8,10
(3)	個別の環境課題に関する対応総括	12	3
4	マテリアルバランス	13	—

2. 「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標

1	環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等		
(1)	環境配慮の方針	11,12,16	—
(2)	重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	12	3
2	組織体制及びガバナンスの状況		
(1)	環境配慮経営の組織体制等	11	—
(2)	環境リスクマネジメント体制	—	—
(3)	環境に関する規制等の遵守状況	14	9
3	ステークホルダーへの対応の状況		
(1)	ステークホルダーへの対応	15,16,18	10
(2)	環境に関する社会貢献活動等	18	9
4	バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況		
(1)	バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	—	—
(2)	グリーン購入・調達	15,16	8
(3)	環境負荷低減に資する製品・サービス等	16	—
(4)	環境関連の新技术・研究開発	—	—
(5)	環境に配慮した輸送	—	8
(6)	環境に配慮した資源・不動産開発／投資等	—	—
(7)	環境に配慮した廃棄物処理／リサイクル	17	5

3. 「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標

1	資源・エネルギーの投入状況		
(1)	総エネルギー投入量及びその低減対策	—	4
(2)	総物質投入量及びその低減対策	13	—
(3)	水資源投入量及びその低減対策	13	5,11
2	資源等の循環的利用の状況	—	—
3	生産物・環境負荷の産出・排出等の状況		
(1)	総製品生産量又は総商品販売量等	—	—
(2)	温室効果ガスの排出量及びその低減対策	13,17	4,11
(3)	総排水量及びその低減対策	13	11
(4)	大気汚染、生産環境に係る負荷量及びその低減対策	13	6,11
(5)	化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	13,17	6
(6)	廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	13,17	5
(7)	有害物質等の漏出量及びその防止対策	14	—
4	生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	18	9

4. 「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標

1	環境配慮経営の経済的側面に関する状況		
(1)	事業者における経済的側面の状況	13	—
(2)	社会における経済的側面の状況	—	—
2	環境配慮経営の社会的側面に関する状況	7,9,21,23,24,25,26,27,28	—

5. その他の記載事項等

1	後発事象等	—	—
2	環境情報の第三者審査等	—	—

2014年度の目標と主な活動結果

当社では、「環境理念」及び「環境基本方針」に基づき、環境活動の目標として、毎年「CMKグループ環境行動計画」を制定しています。この行動計画を基にグループ全体で環境活動に取り組んでいます。

【評価記号の説明 ○: 目標を達成 △: 目標を一部未達 ×: 未実施】

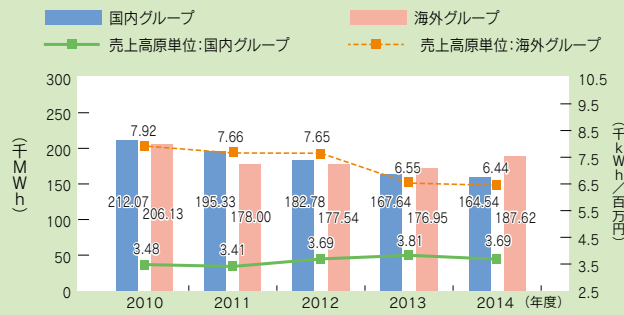
活動区分	活動目的	2014年度目標	評価	
1	管理活動	ISO14001の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001の認証継続とパフォーマンスの向上 ・定期的なEMS内部監査の実施 	○
		環境会計の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・国内グループの環境会計を実施 	○
		環境法令の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・環境法令遵法チェックリストの継続実施 ・中国クリーン生産標準の遵守状況調査の実施 	○
		環境教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員教育、インターンシップ環境講習、海外赴任者教育の実施 ・eラーニングを活用した環境教育の推進 	○
		環境リスクマネジメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回（2014年度）環境リスクマネジメントプログラムを実施 	○
		生物多様性保全	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生物多様性保全活動への参画など、社会貢献活動に取り組む 	○
2	製品の環境対策	製品への環境負荷禁止物質の不使用	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様への環境品質保証を行う ・お客様からの環境負荷物質含有・使用調査に対応 ・お取引先様に対して、グリーン調達調査及びEHS管理監査を実施 ・蛍光X線分析装置によるスクリーニングの運用を継続して実施 ・ICP分析データの更新 	○
		化学物質関連法への対応と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・規制物質の把握、原材料への含有調査及び製品含有管理の実施 	○
		環境配慮型製品「E-spec」の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会等でE-spec製品を紹介 	○
3	生産プロセス、オフィス活動 環境に配慮した	化学物質の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質の使用量、排出量、移動量の把握・管理 	○
		省エネ、地球温暖化の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年改正省エネ法・温対法への対応（行政への報告含む） ・エネルギー消費原単位を1%以上改善 ・1%以上改善するための施策を検討及び実施 ・物流関係：社内便の輸送量（トンキロ）の把握・運行管理を行う 	○
		廃棄物削減と資源の節約・循環	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロエミッション活動の維持・向上 ・資源（水、コピー用紙）の使用量を把握 	○
		グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・国内事業所を対象にエコラベル品の購入を推進 	○
4	コミュニケーション 環境	環境活動情報の開示	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにCSR報告書および環境データ集の掲載 	○
		地域活動への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主催の環境（美化）イベントへの参加 	○
		国民運動への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・環境家計簿の参加者増加を目指す 	△

地球温暖化の防止

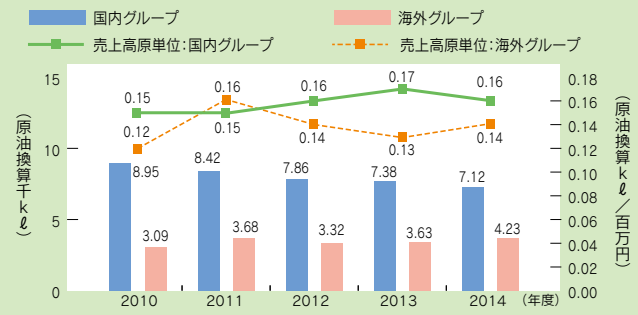
国内生産事業所におけるCO₂の排出は、エネルギー消費によるCO₂の排出がほとんどを占め、省エネルギー活動がCO₂削減の重要な活動となっています。

地球温暖化の原因であるCO₂の削減に向け、生産事業所、オフィスを問わずあらゆる事業活動において省エネルギー活動を推進しています。2014年度のCO₂排出量は国内グループでは108,269t-CO₂（前年度比2.6%減少）、海外CMKグループでは80,918t-CO₂（前年度比8.6%増加）となりました。

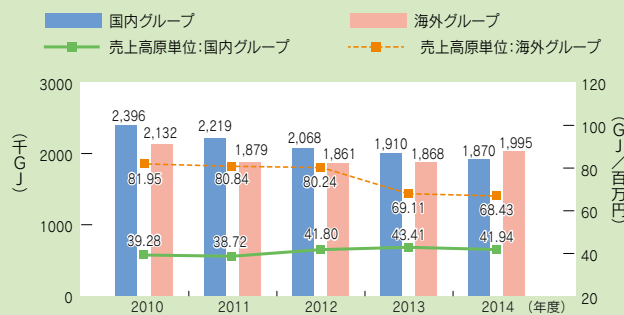
電気エネルギー使用量の年度推移



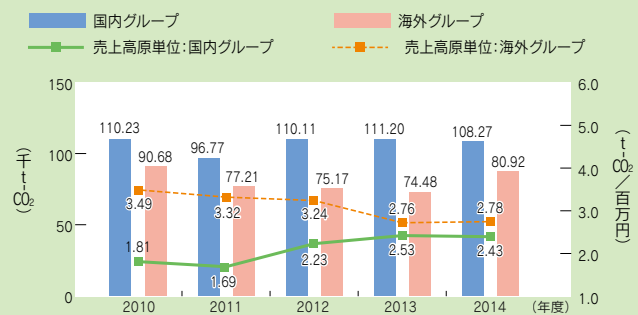
熱エネルギー使用量の年度推移



エネルギー使用量の年度推移(電気エネルギー・熱エネルギー)



CO₂排出量の年度推移



電気エネルギーのCO₂排出換算係数

CO₂排出換算係数は環境省発表値を使用しています。
海外のデータについては、デフォルト値 (0.555t-CO₂ /千kWh) を使用していますが、タイ工場のみ工業団地発電の係数 (0.197t-CO₂ /千kWh) に変更し再計算しています。

地球温暖化防止 各種法対応について

当社では、CO₂削減ワーキンググループによる専門会議を定期的に開催し、CO₂削減の施策や法改正内容の確認とその対応方法を検討しています。

また、東京都をはじめとする地球温暖化防止に関連する各都道府県の条例については、対象となる事業所や条例の要求内容を精査し対応を図っています。

都道府県温暖化対策推進条例指定状況

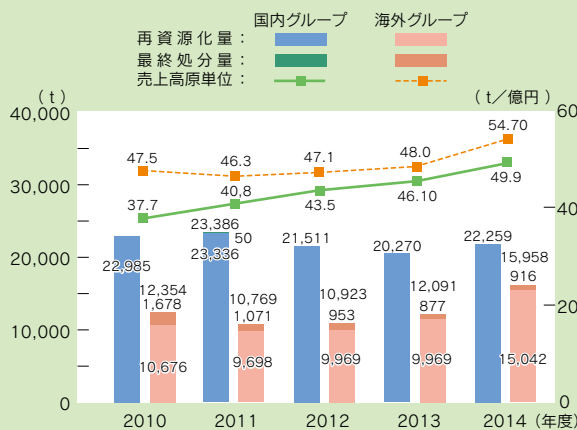
事業所	都・県	指定状況
本社	東京都	特定事業者
SEセンター	埼玉県	自動車地球温暖化計画作成事業者
シイエムケイ・プロダクツ(株)	神奈川県	特定大規模事業者
Gステーション工場、KIBANセンター工場	群馬県	特定排出事業者

廃棄物の削減・再資源化

2014年度の国内グループの廃棄物・有価物の総発生量は22,259tで、ゼロエミッション率は100%を維持できました。

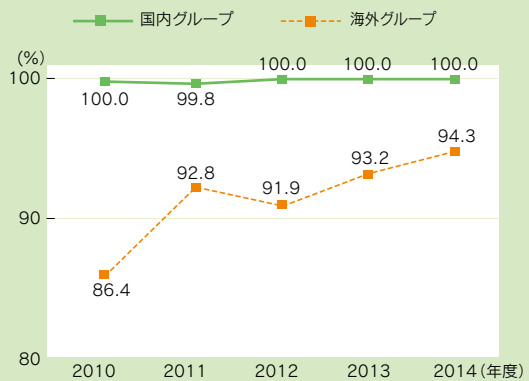
海外グループの廃棄物・有価物の総発生量は15,043tで、ゼロエミッション率は94.3%(前年度比1.1ポイント向上)となりました。なお、海外グループにおいては工場の進出している国・地域性も影響していますが、ゼロエミッション達成に向けた活動を積極的に推進しており、旗利得電子(東莞)有限公司ではゼロエミッションを達成しています。

総発生量の年度推移



- 再資源化量: 再資源化される廃棄物と有価物の量
- 最終処分量: 埋立て処分される廃棄物の量
- 総発生量: 最終処分量+再資源化量

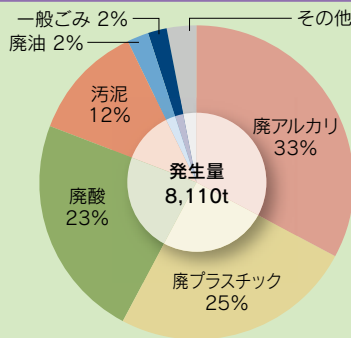
ゼロエミッション率の推移



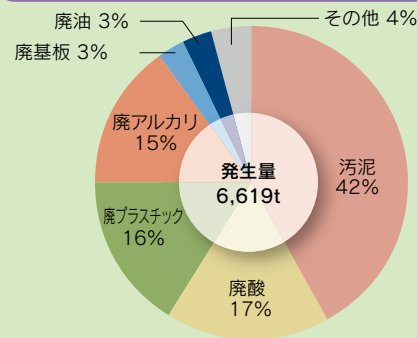
当社のゼロエミッションの定義

直接埋立て処分する廃棄物の量をゼロにすること。(業者委託による中間処理の残渣の埋立処分量は含まない)
ゼロエミッション率100%が定期的に維持できた時点で達成とする。

国内グループの廃棄物発生量の内訳



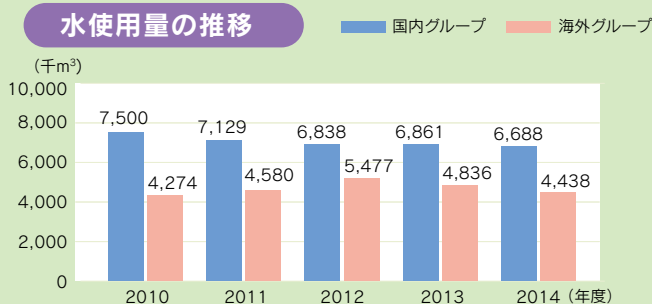
海外グループの廃棄物発生量の内訳



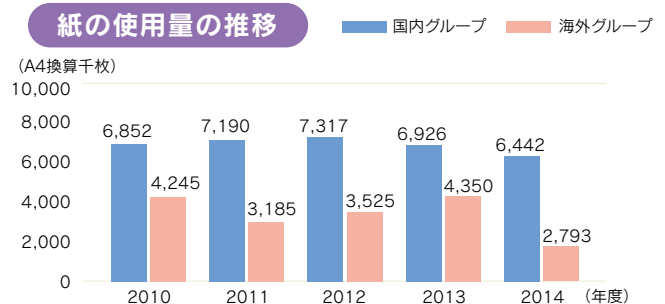
省資源活動

限りある資源を有効利用し、資源の無駄をなくす取り組みを推進することが廃棄物削減にもつながると考え、CMKグループとして省資源活動に積極的に取り組んでいます。

水使用量の推移



紙の使用量の推移



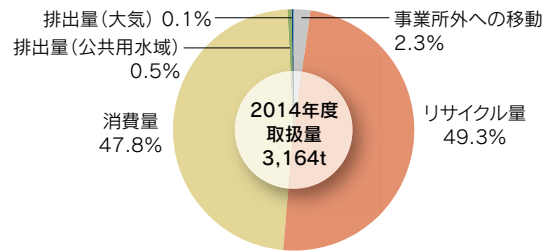


PRTR法への対応

当社では1998年からPRTR法*による排出・移動量を把握し、データを開示しています。2014年度は、14物質の移動・排出量について報告しました。

※PRTR法 (Pollutant Release and Transfer Register の略) :
特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律

PRTR対象物質の排出・移動量



2014年度PRTR法 対象物質別データ

単位: t

政令番号	物質名	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	消費量	主な用途
			大気	公共用水域	土壌	下水道	事業所外への移動			
20	2-アミノエタノール	5.35	0.00	4.01	0.00	0.00	0.96	0.00	0.38	銅めっき工程で使用
60	エチレンジアミン四酢酸	4.97	0.00	4.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	回路形成工程: ネオブラウン (過水酸化) の分析液
71	塩化第二鉄	1,672.41	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	898.76	773.65	エッチング・ニッケルめっき工程で使用
144	無機シアン化合物 (錯塩及びシアン酸塩を除く。)	1.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.31	0.00	金めっき工程: 含金溶液
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	822.99	0.00	1.45	0.00	0.05	21.32	655.03	145.14	銅のエッチングにより生成
291	1,3,5-トリス (2,3-エポキシプロピル) -1,3,5-トリアジン	2.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.92	0.00	1.10	レジストインクの成分硬化剤
300	トルエン	1.99	1.54	0.00	0.00	0.00	0.45	0.00	0.00	表面処理 (樹脂系プリフラックスの希釈剤)
304	鉛	5.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	3.45	2.41	半田ブリコート
309	ニッケル化合物	1.77	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	1.00	0.71	めっき工程: ニッケルめっき (金めっき下地)
395	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	590.95	0.00	0.00	0.00	0.00	47.90	0.00	543.05	めっき前処理工程で使用
405	ほう素化合物	2.75	0.00	2.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	黒化処理工程: 還元剤
411	ホルムアルデヒド	36.33	0.78	0.05	0.00	0.03	2.71	0.00	32.76	銅めっき液の成分
412	マンガン及びその化合物	3.26	0.00	3.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	めっき工程: スミテメ 回路形成工程: ネオブラウン (過水酸化) の分析液
438	メチルナフタレン	11.54	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	11.48	A重油の成分
合計		3,163.54	2.38	16.55	0.00	0.08	74.30	1,559.55	1,510.68	

2014年度PRTR法 工場別データ

単位: t

政令番号	物質名	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	消費量	
			大気	公共用水域	土壌	下水道	事業所外への移動			
Gステーション工場										
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	18.12	0.00	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	17.55	0.00
395	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	88.82	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	88.82
411	ホルムアルデヒド	9.14	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.09
438	メチルナフタレン	6.43	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.40
KIBANセンター工場										
71	塩化第二鉄	960.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	585.56	374.55
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	279.54	0.00	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	279.22	0.00
291	1,3,5-トリス (2,3-エポキシプロピル) -1,3,5-トリアジン	2.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.92	0.00	1.10
395	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	16.49	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	16.49
438	メチルナフタレン	5.11	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.08
新潟工場										
20	2-アミノエタノール	4.01	0.00	4.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
60	エチレンジアミン四酢酸	4.97	0.00	4.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
71	塩化第二鉄	179.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	26.90	152.60
144	無機シアン化合物 (錯塩及びシアン酸塩を除く。)	1.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.31	0.00
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	13.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.06	7.40
309	ニッケル化合物	1.77	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.71
395	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	391.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	391.14
405	ほう素化合物	2.75	0.00	2.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
411	ホルムアルデヒド	17.50	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	16.80
412	マンガン及びその化合物	3.26	0.00	3.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
蒲原工場										
20	2-アミノエタノール	1.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.96	0.00	0.38
71	塩化第二鉄	83.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	83.00
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	477.80	0.00	0.56	0.00	0.00	19.90	336.10	121.24	
304	鉛	5.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	3.45	2.41	
395	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	94.50	0.00	0.00	0.00	0.00	47.90	0.00	46.60	
411	ホルムアルデヒド	6.53	0.08	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	6.25	
シイエムケイ・プロダクツ㈱										
71	塩化第二鉄	449.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	286.30	163.50	
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	34.07	0.00	0.00	0.00	0.05	1.42	16.10	16.50	
300	トルエン	1.99	1.54	0.00	0.00	0.00	0.45	0.00	0.00	
411	ホルムアルデヒド	3.16	0.00	0.00	0.00	0.03	2.51	0.00	0.62	

・技術センター工場と秩父工場は届出対象外となっています。 ・端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

事業所での活動事例

省エネ活動事例

国内事業所における第三者機関による省エネ診断の実施

当社では、各生産工場ごとに設備課人員を配置し、日々、生産活動が滞りなく行えるよう生産設備や付帯設備の維持管理や省エネ活動を行っています。
当社の工場では、電気エネルギーとガスやA重油などの熱エネルギーの比率では約8割以上が電気エネルギーで占めています。

特に、電気代に上乘せされている燃料調整費と再生可能エネルギー賦課金は、前年度に比較すると2014年度は相当なエネルギーコスト負担増となります。

2014年度はこうした背景もあり、本社機能である環境推進室が主導となり、

2014年7月から11月にかけて、国内の7工場において第三者機関による省エネ診断を行いました。

この結果を受けて、各工場の設備課と打合せを行い、順次エネルギー使用量削減効果および費用対効果の大きな案件から計画的に実施しています。



工場設備の省エネ診断

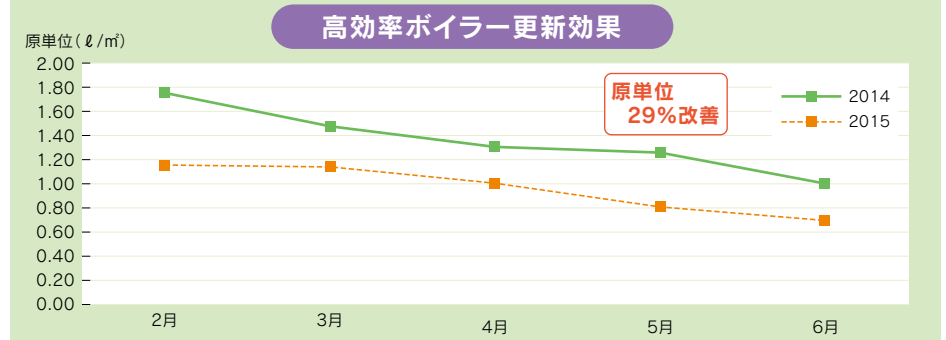
Gステーション工場の省エネ事例：高効率蒸気ボイラーによる省エネ

Gステーション工場では、以前より生産で使用していた蒸気ボイラーの老朽化対策として、更新を検討してきましたが、今回の省エネ診断結果により、エネルギー使用量削減効果および費用対効果が明確になったことで、2015年2月初旬に台数制御機能付き高効率蒸気ボイラーに更新しました。

その結果、まだ検証期間は少ない状況ですが、生産原単位（基板1㎡生産するのに使用するA重油使用量：ℓ/㎡）は予想以上に良く29%の改善（2月から6月間のA重油使用量で約▲114KL、▲199t-CO₂）となりました。



更新したボイラー



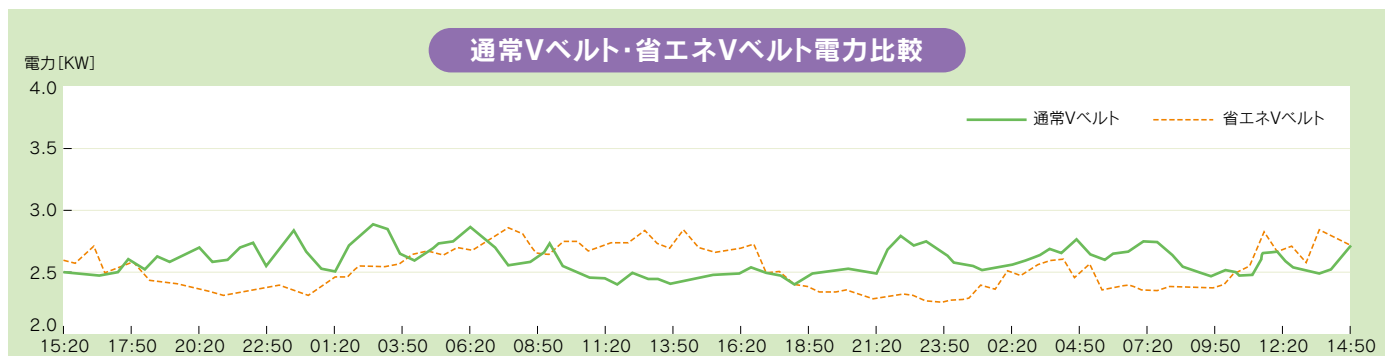
・2015年2月に設備更新を行いその後試運転調整・条件だしにより同年4月より安定稼働

蒲原工場の省エネ事例：省エネVベルトによる省エネ効果

蒲原工場の省エネ診断において、省エネVベルトの推奨がありました。省エネVベルトのメーカー実績では動力伝達ロスが少ないため省エネ率▲3%とあります。

今回、工場の排ガス処理装置をモデルとして数回に渡り、従来のVベルトと省エネVベルトの省エネ効果実験を行いました。その結果、省エネ率▲2～3%であることが検証されました。

こうした動力伝達ベルトは、工場には相当多数あり、▲数%の省エネ効果でも数が多いので電力量削減には効果が期待できます。順次、各工場計画的に交換予定です。



・同じ排気ファンにベルトを取り付け、3日間30分毎に消費電力量を測定

オフィス・物流での活動事例

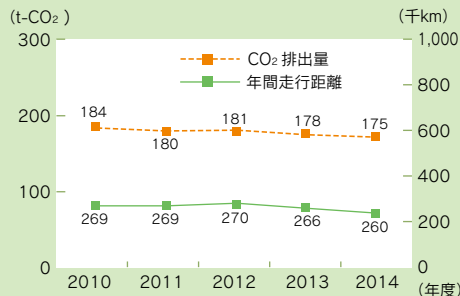
社内物流の環境負荷低減

CMKグループの生産拠点は関越自動車道沿いの新潟県、群馬県、埼玉県に集中しており、この利便性を活かした定期便による社内物流を展開しています。日々、社内便の運行管理の最適化を行い、CO₂排出量の低減に努めています。

関連法規制への対応

- ・2003年10月より施行された自動車NOx・PM法によるディーゼル車規制への対応は2003年度中に完了しています。
- ・2005年4月より施行の改正省エネルギー法による特定荷主には該当していません。

社内物流のCO₂排出量



営業車両の環境配慮

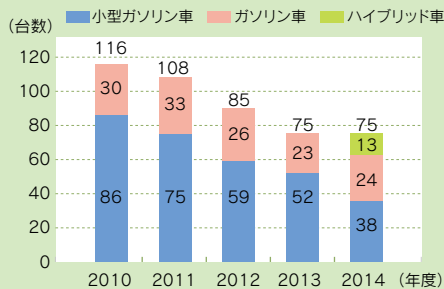
2003年10月に自動車NOx・PM法が施行されたことを受け、当社では営業車両に含まれるディーゼル車をガソリン車へ切替えを実施し、規制に対応しています(2006年度より全面切替)。

また、同時に低燃費・低排出ガスタイプの小型ガソリン車(1,300CC以下)に切替えました。

近年はハイブリット車を導入するなど、CO₂排出量の削減にも努めています。

その結果、当社の営業車両保有台数は、小型ガソリン車38台、ガソリン車24台、ハイブリット車13台となっています。

営業車両の推移



夏季の省エネの取り組み

CMKグループでは、空調によるエネルギー需要が増大する夏季に、国の指針に基づき製品品質に影響しない事務所では空調を28℃に設定するよう取り組んでいます。

各事業所で省エネ部会指導の省エネパトロールも継続して行われ、省エネ実施状況の確認をしています。

また、クール・ビズの期間を従来より延長して夏季の軽装化に努めています。

このような身近にできる環境保全活動を通じて、社員の意識高揚につなげています。



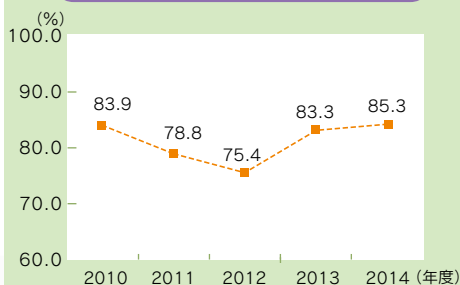
グリーン購入活動

当社では、環境に配慮した事務用品などの購入について「グリーン購入」と位置付け、環境に配慮された事務用品の購入を推進しています。

また、グリーン購入ネットワーク(GPN)からの情報やエコマークなどを参考に「グリーン購入ガイドライン」を策定し、これに基づき購入実績の把握を行っています。

2011年度からは、グリーン購入率の把握対象範囲を国内グループ全てに拡大し、グリーン購入に取り組んでいます。2014年度のグリーン購入率は85.3%でした。

グリーン購入率の推移



グリーン購入率

文具の総購入金額のうち、エコマーク付き商品などのグリーン購入品の購入金額が占める割合(%)

・2008年度と2011年度に算定範囲を一部変更し、現在は国内グループ全ての実績を集計しています。

グリーン購入の判断基準

- ① エコマークなどの公的な環境ラベル認定。
- ② カタログなどで環境配慮品として掲載されているもの。
- ③ ①、②以外で当社として例外的に認めるもの。
- ④ 印刷物については、グリーン購入ネットワーク(GPN)の「印刷サービス」発注ガイドライン(GPN-GL14)に基づき発注したもの。

グリーン購入の対象品目

- 紙類
- 印刷物
- オフィス家具
- 自動車
- 文具
- パソコン・OA機器
- その他オフィス用品



ペットボトルから再生させた繊維を使用したユニホームの採用

環境法令の遵守、環境監査の実施、環境スローガン、生物多様性保全活動

環境法令の遵守

環境リスクを未然に防止する為に、事業所のISO14001の管理活動を主体とした遵法活動に加え、国内グループにおける環境関連法の遵守状況の把握や改善を目的とした「遵法チェックリスト」や、法改正情報を毎月展開し遵法性の維持・確認を徹底しています。

環境法令に関する有資格者数

(2015年3月末現在、CMK単体従業員)

資格名称	人数
ボイラー技士(特級・1級・2級)	25
電気主任技術者(1種・2種・3種)	12
エネルギー管理士	12
エネルギー管理員	6
大気関係公害防止管理者	9
水質関係公害防止管理者	28
騒音関係公害防止管理者	8
振動関係公害防止管理者	10
騒音・振動関係公害防止管理者	1
冷凍機械責任者(2種)	1
冷凍機械責任者(3種)	5
危険物取扱者(甲・乙・丙)	210
防火管理者	27
特別管理産業廃棄物管理責任者	24
廃棄物処理施設技術管理者	4
毒物劇物取扱者	15
衛生管理者	39
乾燥設備作業主任者	152
有機溶剤作業主任者	208
ボイラー取扱技能講習修了者	23
ボイラー取扱作業主任者	12
特定化学物質等作業主任者	199
鉛作業主任者	13
プレス機械作業主任者	38
合計	1,081

遵法チェックリストでの調査対象関連法令

調査対象関連法令	調査対象関連法令
1	大気汚染防止法
2	水質汚濁防止法
3	騒音規制法
4	振動規制法
5	悪臭防止法
6	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
7	エネルギーの使用の合理化等に関する法律
8	消防法
9	毒物及び劇物取締法
10	浄化槽法
11	高圧ガス保安法
12	工場立地法
13	下水道法
14	工業用水法
15	特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
16	地球温暖化対策の推進に関する法律
17	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
18	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律
19	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律
20	建設リサイクル法
21	土壌汚染対策法

環境監査の実施

CMKグループの環境監査活動

CMKグループでは、環境監査を環境マネジメントシステムに関する「EMS監査」と環境負荷物質の管理に重点を置く「EHS管理監査」の2つに分けています。EHS管理監査員の養成については、社内認定制度を設け、監査員の拡充・監査レベルの維持・向上を図っています。EMS監査については、ISO14001取得事業所で、内部監査により環境マネジメントシステム及び環境保全活動が効果的に運用されていることを確認しています。

また、外部審査機関による審査も定期的に受審しています。

◆EHS管理監査員の人数

(2015年3月末現在)

国内	61
海外	24
合計	85

◆環境内部監査員の人数

(2015年3月末現在)

国内	179
海外	41
合計	220

環境スローガン

2015年度環境スローガンの策定(社内公募)

当社では、社員一人ひとりの環境活動における目的意識を高めるために、毎年環境スローガンを定めています。2015年度スローガンは、779件の応募から「地道な努力と新発想 目指そう！ 一歩先行く環境先進企業」が選ばれました。



生物多様性保全活動

当社では生物多様性保全を推進し、「自然共生社会」の構築実現に向けて取り組んでいます。群馬地区では社会貢献活動の一環として伊勢崎市の「赤松管理オーナー制度」に参画し、赤松保護活動に取り組んでいます。新潟地区では(NPO法人の活動に参画し)、緑の募金活動や山道整備の実施、地元の漁業組合の活動支援に取り組んでいます。埼玉地区では、外来植物の駆除に取り組んでいます。年々、活動が活発化してきており、今後もグループ全体で生物多様性保全を推進していきます。



情報開示、お客様への対応

情報開示

環境コミュニケーション

ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションツールとして、1999年より環境報告書の発行を開始し、2000年度版からは英語版の発行にも取り組むなど、国内のみならず海外への情報開示にも積極的に努めてきました。2007年からは、ステークホルダーの皆様に当社のCSR活動を知っていただくことを目的として、環境報告書を拡大発展させ、CSR報告書として発行しています。

また、当社ホームページにCSRコーナーを設け、環境への取り組みを中心としたCSR活動に関する情報を掲載しています。

CSR 報告書



お客様への対応

お客様からのグリーン認定企業の取得

RoHS指令などに対応する為に、お客様では、環境負荷物質管理システムの構築・運用状況の確認の為に環境品質監査を実施しています。

当社では、2002年11月よりお客様の認定監査を受審し、グリーン認定企業として生産事業所を中心に認定をいただいています。



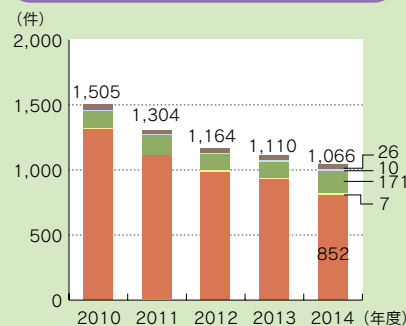
お客様からの認定証

お客様からのお問い合わせ

2014年度にお客様から環境担当窓口である環境推進室に寄せられたお問い合わせやご要望は1,066件となりました。

お問い合わせ内容	(年度)				
	2010	2011	2012	2013	2014
環境負荷物質の使用及び含有	1,315	1,109	978	927	852
ISO14001取得	6	5	13	7	7
グリーン調達	129	152	125	135	171
CSRアンケート	9	9	9	16	10
その他	46	29	39	25	26

お問い合わせ件数の推移



生産及び研究開発拠点の環境負荷データ

上段：事業所名	エネルギー関連			廃棄物関連			資源関連			化学物質関連			水質測定実績					大気測定実績					
	CO ₂ 排出量	電気エネルギー使用量	熱エネルギー使用量	ゼロエミッション率	総発生量	水使用量	紙使用量	揮発性有機化合物(VOC)取引量	pH	BOD	COD	SS	n-ヘキサン(鉱油類)	n-ヘキサン(動植物油類)	大腸菌群数	NOx	SOx	ばいじん	NOx	SOx	ばいじん	特定施設名称	
下段：生産品目又は事業内容	t-CO ₂	千kWh	原油換算kWh	%	t	千m ³	千枚(A4換算)	t	-	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	個/cm ³	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm		
Gステイション工場	9,299	14,804	541	100.0%	502	996	40	0.0	6.8~7.8 (6.0~8.4)	7 (20)	22 (35)	4 (30)	2 (4)	2 (4)	<100 (1000)	81ppm (140)	5.5Nm ³ /h (K値8.0)	0.012g/Nm ³ (0.24)	11mg/Nm ³ (60)	-	-	スクラパー	
ビルドアップ配線板、リジッド・フレックス配線板、多層プリント配線板	19,344	34,330	428	100.0%	5,550	1,099	1,026	27.6	7.6~8.0 (6.0~8.4)	9 (9)	13 (20)	4 (9)	2 (3)	2 (3)	1 (800)	83ppm (120)	2.35Nm ³ /h (K値6.0)	0.12g/Nm ³	<1mg/Nm ³ (20)	7mg/Nm ³ (50)	-	スクラパー	
KIBAN センター工場	1,089	2,054	0	100.0%	137	49	36	0.0	7.6 (6.5~8.5)	1 (14)	1 (20)	2 (10)	2 (2.5)	2 (2.5)	30 (30)	-	-	-	-	-	-	該当なし	
ビルドアップ配線板、多層プリント配線板	49,375	68,394	4,566	100.0%	5,090	3,733	1,805	64.5	6.4~7.5 (6~8.4)	13 (29.5)	8.7 (24.5)	5 (20)	0 (4)	1 (4)	30 (2500)	56ppm (58)	-	<0.01lg/m ³ (0.06)	-	-	-	蒸気ボイラー・冷水発生機	
浦原工場	22,552	33,742	1,331	100.0%	5,720	672	1,440	25.1	7.4 (6~8.3)	25 (45)	41 (50)	4 (10)	<2 (3)	-	-	26cm ³ /m ³ (40)	<0.011 (-)	0.0068g/Nm ³ (0.03)	28cm ³ /m ³ (40)	<0.0087 (-)	0.0059g/Nm ³ (0.03)	ガス抜き式小型貫流蒸気ボイラー	
多層プリント配線板、両面プリント配線板	444	826	2	100.0%	61	2	158	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	該当なし	
秩父工場	6,167	10,385	249	100.0%	5,200	137	1,574	2.0	8.0 (6.0~8.4)	140 (<250)	-	6 (<250)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	該当なし	
プレス金型、分割金型、裏装治具、環境配慮剥離型洗浄機	31,349	50,852	1,283	100.0%	7,563	1,044	1,244	-	7.7 (6~9)	-	-	14 (30)	1.9 (2)	-	-	235 (400)	355 (500)	-	-	-	-	-	排気ボイラー
シイエムケイ・プロダクツ(株)	27,038	45,377	965	91.5%	4,477	595	1,015	-	7.95 (6~9)	-	46 (50)	27 (30)	-	-	-	ND (240ng/m ³)	0.25ng/m ³ (45)	-	-	-	-	-	工場排気
印刷配線板試作	22,524	91,390	1,976	86.4%	3,920	2,800	535	-	7.1 (5.0~9.0)	20 (≤500)	88 (≤750)	11 (≤200)	1766 (≤3000)	<2 (≤10)	-	2.4ppm (≤200)	2.8ng/m ³ (≤320)	50.3ppm (≤200)	-	-	-	熱線ボイラー	
印刷配線板、多層プリント配線板																							

・大気・水質測定値は最大値となっています。 ・() 内の数値は自主基準値となっています。